

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成26年度(2014)活動行事記録

平成26年(2014)3月30日～4月12日 黒野城跡

夜桜とイルミネーション&黒野城跡フェスティバル

「紙芝居第二弾初公開・武将隊出動」



4月6日(日)4団体の御神輿(本御輿・子ども御輿)が順次黒野城跡に入る

4月5日(土)18:20～「お堀から出てきた観音さま」上演(郷和彦・郷孝夫)



武将隊も御神輿に花を添える



名知さん・関谷さん

上演は続けて2回披露
(郷和彦さん・郷孝夫さん)



4月6日(日)岐阜大学留学生
交歓会での武将隊(松井さん)→



平成26年度 岐阜市史蹟黒野城跡 発掘現地説明会

平成26年(2014)6月7日 10:00～12:00

主催：岐阜市教育委員会

小雨も上がり、地元内外から約70名の見学者。教育委員会の高橋さんなどから説明があり、1. 黒野城で初めて石垣を確認。2. 枡形虎口の位置確認。3. 築城時に大規模な造成工事をしていることが判明。の説明がありました。

枡形虎口を特徴とする織豊時代の築城が判明したことは大変価値ある成果であった。夜、ぎふチャンTVニュース紹介。



会館南側の発掘現地



出土石(栗石)の材質が8種類も



発掘された枡形虎口の石垣列遺構

加納藩戸田氏 北方町「時の太鼓」見学

平成26年(2014)6月10日

8:30~11:30

6月10日 火時の日記念日

北方町文化財保護協会の紹介で名知さん案内にて研究会員9名が北方町訪問。テントの来賓席に案内され、北方市長、平田文化財保護協会長、安藤副議長ほかと挨拶。9時27分(4つ)の時の太鼓打ち、古謡北方踊りを見学。時の記念日に再現され、昔ながらの打ち方で時を告げていた。

その後、協会三浦さんの案内で陣屋跡を通り北方城跡を見学。帰りは西順寺にて、協会などの皆さんからお茶を戴き黒野と北方の話に盛り上がる。

8月に北方から一行約20数名が黒野に訪問、貴久家で昼食の交流会依頼がありました。



元禄10年(1697)、北方五千石の領主戸田光直が、将軍徳川綱吉に馬術の妙技を上覧し、その褒美に御三家以外は使用できないという「時の太鼓」。



旧方県郡と旧本巢郡の郡界石



西順寺にて袴の平田会長と談話

「地名文化研究会」 岐阜市城趾視察コース・黒野城など案内

平成26年(2014)7月2日(水)
10:00~12:30

大垣、岐阜地区在住の地名文化研究会(代表 説田武紀氏)ら41名(内女性3名)が、観光バスで来訪。貴久家に10時到着、本丸跡で会長挨拶後、3グループに分かれ本丸一周後、伊藤家土塀経由で、観音堂、二ノ丸資料館を案内。終了後、貴久家でランチ。案内中は専門的な質問が多く出ました。暑い中であつたが、時間通り無事終了。一行は、信長居館跡、加納城跡、革手城跡に向かわれた。

案内者
郷会長、河口耕三、郷和彦、名知勲、関谷太治



観音堂は、30日に4名にて美化活動を実施した。床板張り、外側不要物撤去、整地、土留め作業等。本丸も案内板、露出石周辺の剪定、ゴミ拾い実施。



平井氏製作の貞泰旗

岐南町や大洲同行など研究会と交流がある大竹庸元氏も来られビックリ。交流を深める。



←関谷宅の二ノ丸資料館は初の公開見学会場となった。



貴久家で見送り

観音堂の美化活動

平成26年(2014)7月1日、2日



従来



整備後

整備内容

- ・本堂内の床板追加補強
- ・佐野家の要望にて鉢、看板、表示紙等を撤去
- ・自然生樹木、花壇の撤去
- ・正面の整地作業(見学者の安全性も確保)
- ・本堂横床板部の穴隠し

作業者 : 郷和彦・郷孝夫・名知勲・河口耕三・佐野家



「岐阜市小中学校社会科研究部会 夏期校外研修」 黒野城跡・城郭ウオークの案内

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成26年(2014)8月25日(月)

時間:9:00~11:30

集合:黒野小

参加教員:64名

案内役:郷会長、郷和、河口、
浅野、関谷

美化活動の実施

開催に先立ち20日に本丸の草刈り、
清掃活動を7名で実施

岐阜市の小中学校社会科の教員研修会が黒野城地域に選ばれた。黒野城跡周辺を散策し、戦国時代から江戸時代にかけて存在した当時の様子を知ることを狙いとされ、その案内を5名で行った。

黒野小ワークスペースで小森校長の挨拶、担当花井先生のコース説明、案内者紹介、会長挨拶の後、1時間15分の日程で3グループに分かれ、国島家前経由で黒野城跡までの各所を通り、黒野小に戻る。大変蒸し暑い中であったが、予定通り案内できた。

一列、二列の1グループ約20名は多く、説明に用意された小型のハンドマイクは役立った。(研究会でも必要な備品)



黒野小正門前で3グループに分かれ出発



国島家門 郷会長による合同説明

「北方町文化財保護協会」との交流会

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成26年(2014)8月27日(水)

12:00~16:10

参加者: 北方町21名(男16・女5)
黒野 12名(男10・女2)



- 貴久家 : ランチ昼食
紙芝居上演 語り部郷和、神山
黒野会館 : 「黒野城と北方」講演 河口
マイクロバス : 国島家、西木戸、郷家を会長説明
光順寺・観音堂 : 郷会長、郷和
二ノ丸資料館 : 関谷
本丸一周 : 郷会長、河口、浅野
会場サポート : 上記他 国島京子、佐部利、鈴木

平田会長あいさつ
(北野の各務支考見学後、北方町のマイクロバスで貴久家に到着)

紙芝居上演(貴久家)

北方の皆さんとは名知さんの橋渡しで6月の「時の太鼓」訪問以来、交流会が実現。名知さんは体調不良で欠席であったが、黒野城に初めて来られた方も多く、黒野側のもてなしで大変喜ばれたようでありました。



黒野会館講演会場



観音堂にて(写真説明)



二ノ丸資料館



北方町マイクロバスでお帰り



記念写真

美化活動2

平成26年(2014)10月1日(水)
9:00~11:00 黒野城跡

10月4日予定の「黒野小学校ふるさと学習」のフィールドワーク(現地学習)及び[長良川おんぼく2014]の開催を前に、黒野城跡の草刈や、ゴミ拾い等の美化活動を行った。
歩きやすい環境になりました。



研究会スタッフ

・フィールドワーク

- 1 郷孝夫・澤島勝美
- 2 郷和彦・工藤治示
- 3 浅野正剛

・黒野城下町ジオラマ学習

- 河川耕三・関谷太治

作成資料

フィールドワークのしおり

黒野小 土曜日ふるさと学習

黒野小学校(小森保直校長)が本年度から始めた土曜日の教育活動のひとつに「ふるさと学習」(黒野城)が計画され、6年生、5年生の児童対象に、研究会は説明や案内役で地域活動を担いました。

6年生3クラスは、フィールドワーク(現地学習)で3班に分かれ、黒野小から国島家門、西木戸、郷純造家、伊藤家門、多賀神社、馬頭観音、小川市跡、新道、黒野小まで約1時間30分を歩き、案内をしました。

5年生3クラスは、体育館にて「黒野城下町ジオラマ学習」。プロジェクターで「黒野城の歴史」を見た後、ジオラマをグループごとに分かれて説明しました。

1年生~4年生は、研究会が一昨年制作した「黒野のお殿さま」を6年生児童が語り部のVTRを各教室で上映があり、「ふるさと黒野検定子ども版」の問題が出題されました。



6年生のフィールドワーク 黒野城跡にて)



5年生のジオラマ学習(黒野小体育館にて)



長良川おんぱく2014「黒野城の歴史ロマン探訪」開催

昨年に続き2回目のおんぱく参加プログラムを開催。秋晴れの好天に恵まれ、城下町を案内しました。参加者の感想は、熱意ある企画で、面白い機会をいただいた。普段見れないものが見れて良かった。誘われて参加された方からは勉強になったなど。プログラムは「よかった」、参加費は「まあまあ」のアンケート結果でした。

平成26年(2014)10月19日(日)
9:00~12:20

参加者14名(男11・女3)
研究会案内・スタッフ6名
参加費1,000円
(資料・あんパン・お茶・保険など)



明善寺梁瀬住職が寺の説明



寺院本堂では初めての紙芝居上演(明善寺)
しろの・くろのあんパンを食べながら観賞



本丸堀内



明善寺の格天井絵(伊原宝水画)



公民館歴史講座 郷土史探訪 「長良川鵜飼と黒野」

黒野城と加藤貞泰公研究会

講師 望月良親さん(歴史博物館学芸員・黒野城の研究会員)

平成26年(2014)10月25日(土)
19:30~21:00 黒野会館
参加者:50名

「長良川鵜飼と黒野」の演題にて、望月良親さんの講演会が行われた。
郷土の歴史に感心がある市内外から50名が参加。

鵜飼の記録では最古史料である、大宝2年(702)「御野国各牟郡中里戸籍」の鵜飼部目都売について鵜飼郷と各牟郡の関係が長良川鵜飼1300年の歴史の始まりであるお話。

また 深坂神社の古書、棟札の記録から鵜飼七郷、九郷の変遷。大正10年の「黒野村の歌」の中に八つの大宇その昔。大正12年の郷社昇格運動など地域の皆さんに大変勉強になる講座でありました。



講師紹介の留田公民館長と郷由美さん

第18回 黒野校区文化祭

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成26年(2014)11月2日(日), 3日(月)

2日 9:00~17:00

3日 9:00~16:00 黒野小学校体育館

説明要員: 研究会員9名にて交代説明

2年毎に開催される文化祭に研究会は3回目の出展。

今年は市教育委員会の発掘調査が行われたので、本丸に関する発掘調査2年分の展示(市教育委員会)。

研究会は本丸の想像図パネル3枚(河口作成)、本年受賞の市景観賞の盾・賞状と市民活動状況パネルや鎧兜(信田氏・関谷氏の製作品)を展示。配布資料として「会報蘇る黒野城」などを置く。

また、研究会OB平井昭彦さん製作の本丸大型ジオラマが初公開され、前日の新聞掲載を見ての来訪者もあり、注目の的でありました。



歴史関係コーナー全景



本丸ジオラマ(平井さん製作)



黒野城跡2年間の発掘調査試料展示(市教育委員会)



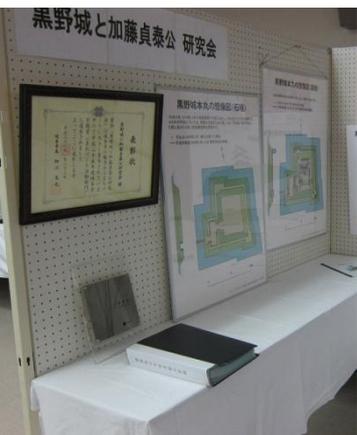
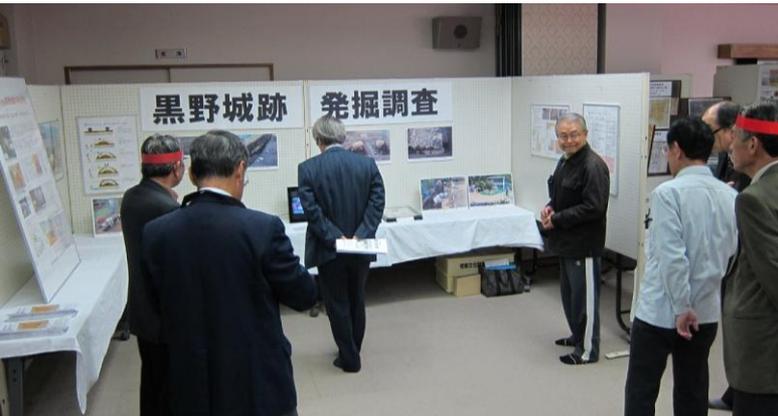
本丸想像図・市景観賞・市民活動パネル・鎧2体(研究会関係)

平成26年度「会館まつり」に展示

平成26年(2014)11月8(土)・9日(日)
9:00～16:00 黒野会館
説明当番 会員9名にて設営、案内

毎年開催される「会館まつり」には、会館利用団体として出展。先週の校区文化祭と同様の出展内容でした。展示物は、黒野城跡発掘調査(岐阜市教育委員会・埋蔵文化財調査事務所)。研究会は黒野城本丸研究想像図・絵図・写真と鎧兜、市民活動状況記録などを展示。市教育長なども見学にいられた。

400年前の家臣を訪ねて来館
加藤貞泰家臣の市井忠左衛門を調べておられる京都府宇治市の原田道子さんが「会館まつり」をネットで知り、初めて黒野にご夫婦で来られた。午後は会員3名で、黒野城などを案内し、家中屋敷図に書かれている居住跡では特に感慨深く見られ、案内の皆さんに感謝されました。



京都府宇治市から見学に来られた原田ご夫妻

平成26年(2014)11月15日

黒野城のパンフレット2種類発行

平成26年度の大きな事業として、3年前に発行した「訪ねてみよう 黒野城下町」の改訂第二版と2年前に発行のリーフレット「黒野城」の改訂第二版を11月15日に同時発行しました。

改訂版は、調査研究などの新情報が盛り込まれております。

それぞれの第一版は、「岐阜市市民活動支援事業の補助対象事業」にて印刷しましたが、第二版は地元の企業、団体などから寄附金の御協力を賜り、印刷発行することが出来ました。



「黒野城」リーフレット
B4サイズ
8000部発行

中 四 新 聞 2015年(平成27年)1月6日(火曜日)

幻の黒野城下町 散策を



黒野城跡周辺の地図を紹介する河口耕三さん(岐阜市今川)

黒野城は戦国武将の加ぎ型の道は残っている。藤貞泰(一五八〇〜一六二三年)が一五九四年に貞泰公研究会が四年間築城した。その後、貞泰の研究の集大成として仕判三つ折りの二種類で、一六一〇年に鳥取県の上げた。江戸初期の検地帳に黒野城は廃城となった屋敷の配置図を、現在配布している。公園にの地図と並べて掲載。見なっているが、お堀やか比べながら街歩きができ

黒野会館で配布

(安部伸吾)

安土桃山時代から江戸時代にかけて十六年間だけ存在した岐阜市黒野の黒野城。その旧城下町を散策するための地図を、地元の市民有志が作成し、堀に囲まれた城跡や、近隣のゆかりの史跡を紹介し、幻の城の謎に迫る内容となっている。編集を担当した副会長の岐阜市今川、河口耕三さんは「存在した期間が短い黒野城は、まだ分からないことだらけ。今後も改訂を重ねていきたい」と話している。A2判八つ折りとA4判三つ折りの二種類で、計一万五千部を発行。黒野会館(同市下鶴飼)で配布している。(同会館 〓058) (239) 02

岐阜 市民有志が地図作成



「訪ねてみよう 黒野城下町」パンフレット
A2サイズ 7000部発行

大垣中日文化センターの一行案内「黒野城と町並み」

平成26年(2014)11月19日(水)
10:00～13:50

大垣 中日文化センターの岩田義城先生の引率にて、西濃地区の一行は岐阜駅から岐阜バスなどにて黒野城跡前下車、黒野城跡に到着。

黒野城と城下町の概要を説明。土塁を一周し、貴久家にて黒野城弁当。食事後、紙芝居「黒野のお殿様」上演。その後、南町の町屋敷跡、光順寺、あそか苑、観音堂、伊藤家門、西木戸、国島家門、熊野神社を案内し、三角屋のバス停で解散。

参加者：12名(男2名・女10名)

研究会：郷和彦・河口耕三



黒野城跡の
水上歩道にて



貴久家にて紙芝居
「黒野のお殿様」上演



観音堂にて



第1回黒野まちづくり協議会主催 「黒野探訪」

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成26年(2014)11月23日(日)

9:00~13:00

暖かい好天の中、黒野小校庭に「第43回校区歩け歩け運動大会」の参加者約400名と「第1回黒野探訪」参加者55名が集合。

「黒野探訪」は、まちづくり協議会が主催で、研究会はコース企画、案内説明役。探訪地図など配付資料を配り、3グループに分かれて、黒野小→想門口跡→西木戸跡→国島家門→熊野神社→小川市跡→馬頭観音→多賀神社→郷純造生誕地→伊藤家門→光順寺→明善寺→観音堂→黒野城跡まで約1時間50分の家中屋敷内跡を歩く。地域の皆さんには初めて見る・聞く所もあり関心を持たれました。

黒野城跡到着後は、黒野体育振興会の皆さんが豚汁・焼きそば・綿菓子を作りを催され暖かく美味しく戴きました。体育振興会の多くの協力団体の皆さんに感謝します。



多賀町の馬頭観音



黒野小グラウンドに集合・二つの行事同時開会式



←郷純造・誠之助
生誕地にて



←黒野別院跡・光順
寺の説明



明善寺前にて→

関ヶ原合戦場 岡山(丸山)烽火場に加藤貞泰の記名表示お願い

平成25年にNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が放映され、垂井では黒田官兵衛、竹中半兵衛が話題になり、関ヶ原町では関ヶ原合戦場の岡山(丸山)烽火場も放映された。

以前から関ヶ原合戦に初陣の加藤貞泰の顕彰活動を望んでいたところ、年末に、関ヶ原町と県が「世界三大古戦場」を目指し、古戦場陣地跡、再整備の新聞記事が掲載された。

関ヶ原合戦では岡山烽火場に黒田長政、加藤貞泰、竹中重門が布陣した古文書や古い合戦図の史料が存在しているが、ほとんどの書籍や案内書などには加藤貞泰の名はなく史実から消えており、一般にも全く知られていない。

この機会に是非、岡山烽火場に加藤貞泰の名を表示して頂きたいと、調査した古門書資料や絵図を揃え、関ヶ原町役場に研究会員8名でお願いに訪問しました。

訪問先 関ヶ原町役場
面会者 地域振興課企画係長 山田和史氏・南形仁志氏
訪問者 研究会員8名
発行資料 「関ヶ原合戦に於ける黒野城主左衛門尉貞泰の記名表示について(お願い)」他



説明状況(関ヶ原町役場にて)



役場屋上から岡山烽火場と岐阜方面を望む



役場屋上にて 中央後方の山林伐採部が岡山烽火場



役場屋上から合戦場パノラマが360°望める絶好地。展望台設置の候補地のようなである



烽火場の石柱→

刻銘「岡山烽火場 黒田長政・竹中重門陣所古跡」 加藤貞泰名は無く寂しい

NPOふれあいの森自然学校 なるほど自然講座 「訪ねてみよう！黒野城と城下町ウオーク」案内

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成27年(2015)2月22日(日)

10:00~12:20

年間を通じて様々な自然体験活動を行ったり、岐阜市や近郊里山の植物、野鳥など自然環境の維持や案内人養成講座などを行っているNPO法人ふれあいの森自然学校(代表 中山久仁夫氏)が黒野城跡の散策を企画。

今回は平成26年度「なるほど自然講座」(年10回開催)に参加の森大好き市民を中心に17名を案内しました。参加の皆さんは樹木に関心も高く、散策のいたるところで、史跡と自然を同時体験。

城下の樹木に新発見も教わり、研究会(郷孝夫・郷和彦・河口)の案内人も勉強になりました。



桜の木に寄生したビワの木(中央)を発見
黒野城跡にて



樹木の名や年輪に関心が高い皆さん 多賀神社境内にて



←この木なんの木？
あまり見られない高木、クスノキ科の榎木(タブノキ)を見上げる
国島家屋敷前にて

平成26年度「ふるさと黒野検定 子ども版」表彰式

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成27年(2015)3月12日(木)
 黒野小学校 8:15~9:00
 研究会 実行委員会6名参加

平成26年度行事の第2回「ふるさと黒野子ども検定」は、黒野小学校小森校長や先生方のご協力を得て、1昨年に続き4、5、6年生を対象に100問の検定を行ってきました。

集計の結果、昨年度よりも成績や回答率も大幅に上昇し、郷土歴史文化への知識向上が見られました。

その表彰式が黒野小体育館にて行われ、浅野正剛実行委員長から検定賞と賞品が授与されました。最優秀賞は3名、優秀賞9名、特別賞に3学級が選ばれ、参加者全員に参加賞も渡されました。

尚、賞状、メダル及び参加賞など実行委員会のメンバーにて手作りで製作したものです。

- | | | | | |
|--------------------|---------------------------------------|--|---|-------|
| ◎
参加賞(小旗)
全員 | ◎
特別賞(表彰状)
四年一組
五年二組
六年三組 | ◎
優秀賞(表彰状・メダル)
四年一組
烟中優花
森 琴菜
土田 佳朋
鷲見 智也
塚本 みのり
徳重 凜
山田 大地
玉木 彩賀
市橋 亜季 | ◎
最優秀賞(表彰状・金メダル・ノート)
四年二組 白木 菜月
五年一組 北岡 和真
六年三組 末次 真緒 | 検定受賞者 |
|--------------------|---------------------------------------|--|---|-------|



実行委員会のみなさん

会員手作りのメダルを授与